

安全データシート (SDS)

製造者情報

製品名 モノタロウ 青ニス除去剤
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M170330

作成日 2017/3/28

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール 区分 1
引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分 5
皮膚腐食性、刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷、刺激 区分 2
生殖毒性 区分 1B
特定標的臓器、全身毒性（単回暴露） 区分 1（呼吸器、中枢神経系、腎臓、肝臓、全身毒性）
特定標的臓器、全身毒性（反復暴露） 区分 1（呼吸器、神経）

水生環境有害性（急性） 区分 2（脾臓、血管、肝臓）

水生環境有害性（急性） 区分 3

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

極めて可燃性、引火性の高いエアゾール
飲み込むと有害の恐れあり
皮膚を刺激する
眼を強く刺激する
生殖機能または胎児への悪影響の恐れあり
臓器（呼吸器、中枢神経系、腎臓、肝臓、全身毒性）の障害あり
長期または反復暴露による臓器（呼吸器、神経）の障害あり
長期または反復暴露による臓器（脾臓、血管、肝臓）の障害の恐れあり
水生生物に毒性あり

注意書き

応急措置 p.2 に記載
取り扱い p.2 に記載
保管 p.2 に記載
廃棄 p.4 に記載

組成、成分情報	成分及び含有量 CAS No. 国連番号及び国連分類 消防法 労働安全衛生法 P R T R 法	有機溶剤、噴射剤(ジメチルエーテル) 企業秘密のため非公表 1950、クラス 2.1 第4類第1石油類 危険等級II 通知対象物：酢酸エチル(10～20%)、キシレン(10～20%) エチルベンゼン(10%未満) イソプロピルアルコール(IPA) (20～30%) 有機溶剤中毒予防規則 第2種：酢酸エチル、キシレン、IPA 第1種指定物質 キシレン(政令番号 80) エチルベンゼン(政令番号 53)
---------	---	---

応急措置	<p>吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。</p> <p>眼に入った場合：水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着してなければ外してから洗浄する。医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚にかかった場合：水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。皮膚への刺激が強い場合、医師の手当を受ける。</p>
------	--

火災時の措置	<p>消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から消火する。初期の消火には下記の消火剤を用いる。</p> <p>消火剤 霧状の強化剤、泡粉末または炭酸ガス消火器。 消火に棒状の水を使用しない。</p>
--------	--

漏出時の措置	<p>保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海、下水道等に流入しないように注意する。</p>
--------	---

取扱いおよび保管上の注意	<p>関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。</p> <p>取り扱い 製品の使用中、飲食および喫煙しない。 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。 呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 屋外または通気性が良い場所で使用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。</p> <p>保管 屋内の直射日光が当たらない屋内の涼しい場所で保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。</p>
--------------	---

暴露防止措置	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV)
酢酸エチル	200ppm	200ppm	400ppm
キシレン	50ppm	50ppm	100ppm
エチルベンゼン	20ppm	50ppm	20ppm
IPA	200ppm	400ppm	200ppm

設備対策	発生源の密閉化、または排気装置を設ける。
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。
保護眼鏡	必要であれば普通型眼鏡を着用する。
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

物理／化学的性質	原液	外観等	無色透明液体
		臭気	溶剤臭が強い。
		揮発性	強い
		蒸気圧	データなし
		沸点	77.2～136.2℃
		密度	0.84g/cm ³
		溶解度	水に不溶
	噴射剤	外観	無色透明液体
		臭気	やや甘味臭
		蒸気密度	1.59kg/m ³ (空気=1)
		融点	-141.5℃
		密度	0.66g/cm ³
		蒸気圧	0.5Mpa(20.8℃)

危険性情報	原液	引火点	-4℃
		発火点	427℃
		爆発限界	1.1～12.0%
		可燃性	液体は揮発性が強く、引火しやすい。 蒸気は低所に滞留し、地表面に添って移動し、着火源があると引火爆発を起こす恐れがある。
		自然発火性	通常の使用方法ではないと考えられる。
		酸化性	なし
		自己反応性	なし
		安定性	安定
		反応性	強酸化剤との接触をさける。

有害性情報	刺激性	皮膚	: 刺激を引き起こす。繰り返しの接触により皮膚が脱脂され炎症、痛み等が生じる。
		眼	: 刺激する。
		呼吸器系	: 蒸気またはミストの吸入により呼吸器系に刺激を引き起こすことがある。
	急性毒性	酢酸エチル	: 経口 LD ₅₀ =5,620mg/kg (ラット)
		キシレン	: 経口 LD ₅₀ =4,300mg/kg (ラット)
		エチルベンゼン	: 経口 LD ₅₀ =3,500mg/kg (ラット)
		IPA	: 経口 LD ₅₀ =5,045mg/kg (ラット)
			蒸気を吸入すると有機溶剤中毒や健康障害(吐き気、頭痛、めまい、嘔吐、知覚異常、昏睡、意識喪失等)を起こす危険性がある。連続した吸入により、意識を失い、死に至ることもある。
			液体を飲み込むと肺に吸収されて化学性肺炎を起こし、胃腸刺激や吐き気、嘔吐、下痢等を起こす可能性がある。
	発がん性	キシレン	: IARCにおいてグループ3に属する。
		エチルベンゼン	: 日本産業衛生学会では2B (人間に対しておそらく発がん性があると考えられる)に属する。

